**EPA看護師1年目振り返りノート**部署　　　　　　　　　氏名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 月　　日（　　） | | | |
| 実施したこと |  | | | |
| 覚えたこと |  | | | |
| わからなかったことと |  | | | |
| 困ったこと |  | | | |
| 感想 |  | | | |
| サイン | 所属長 | 教育担当責任者 | 実地指導者 | 教育専従看護師 |
|  |  |  |  |

**振り返りノートの活用方法**

＜前日分の振り返りノート＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　＜当日分の振り返りノート＞

・所属長へ提出する。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・自宅で記入し、翌朝提出する。

・提出された振り返りノートを担当看護師が指導の参考にする。

・毎日15時に、看護管理室（教育専従看護師）へ本人が提出する。

・教育専従看護師は日本語添削後、翌日、日責者へ返却する。

例）月曜日：自宅で「振り返りノート」記入**⇒**火曜日：朝、日責者へ提出**⇒**その日の担当看護師に渡す**⇒**15時、本人が教育専従看護師へ提出**⇒**水曜日：教育専従看護師が日責者へ返却**⇒**本人へ返却（本人が新人臨床研修ファイル内へ入れる）

**EPA看護師2年目振り返りノート**

**✿　　月✿**

|  |  |
| --- | --- |
| **実施したこと** | **指導者欄** |
| **分からなかったこと** |  |
| **今後の計画** |  |

**✿　　月✿**

|  |  |
| --- | --- |
| **実施したこと** | **指導者欄** |
| **分からなかったこと** |  |
| **今後の計画** |  |

**EPA看護師（1年目）ステップアップシート**病棟　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　実地指導者　氏名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度単位の目標 | **１年目** | ①日本語能力試験N2合格。  ②日本語の文章を読み取ることができる。（看護記録、指示、伝達ノート、会議議事録など）  ③相手の言っている内容を正確に理解できる。自分が伝えたい事を正確に相手に伝えることができる。  ④担当患者の看護（記録を除く）ができる。 | | | | | | | | | |
| ステップ | ステップ1 | | | ステップ2 | | ステップ3 | | ステップ4 | | ステップ5 | |
| 達成予定日 | 月　　　日 | | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | |
| 目標 | □病院の雰囲気に慣れる  □勤務体制に慣れる | | | □担当患者の看護技術が実施できる  （侵襲を伴わないもの）  □日勤のタイムスケジュールがわかる  □情報収集ができる  □自己の行動の報告ができる | | □担当患者の看護技術が実施できる  （侵襲を伴うものも含む） | | □スタッフとコミュニケーションがとれる | | □複数の担当患者の看護ができる  （侵襲を伴うものを含む）  □伝達ノートの内容が理解できる | |
| フォロー体制 | □見学後、スタッフと一緒に看護技術を実施（侵襲を伴わないもの） | | | □スタッフと一緒に担当患者の看護技術を  実施（侵襲の伴わないもの） | | □スタッフの指導を受けて患者の看護技術を実施  （侵襲を伴うものを含む）  ※１人でできるケア・技術も、必ず前後の確認を行う | | □スタッフの支援を受けて患者の看護技術を実施（侵襲を伴うものを含む）  ※1人でできるケア・技術も、必ず前後の確認を行う | | | |
| 知識 | □部署の特徴を知る  □部署目標・組織図を知る  □部署のルールを知る  □物品の場所を知る | | | □日勤業務の流れを知る  □スタッフの顔と名前を覚える  □患者の情報収集の方法を知る | | □各部署への連絡方法を知る  □循環器で使用する薬剤がわかる  □心臓の解剖がわかる  □狭心症の病態がわかる  □心筋梗塞の病態がわかる  □心不全のがわかる  □申し送りノートから周知事項を知る  ※循環器チェックリスト使用 | | □入院の一連の流れを知る  □退院の一連の流れを知る  □心カテ入院の流れがわかる  □クリティカルパスの使用方法がわかる  □危険な不整脈がわかる  □救急カートの物品内容がわかる  □ワーファリン表の使用方法がわかる | | □担当看護師の役割がわかる  □HCUからの退室患者受け入れの流れを知る  □心外患者の対応がわかる  □感染隔離部屋の対応がわかる  □冠動脈CTの検査の流れがわかる  □経食エコーの検査の流れがわかる  □輸血の流れがわかる  □血液製剤の投与方法がわかる  □麻薬・劇薬の取扱がわかる | |
| 記録 |  | | | □電子カルテの基本操作を知る  □検温表の入力方法を知る | | □検温表の入力（バイタルサイン）ができる | | □検温表の入力（簡易記録以外）ができる  □プロフィール用紙の内容を入力できる | | □検温表の入力（簡易記録）ができる  □SOAPの書き方を知る  □経時記録の書き方を知る  □テンポラリーの書き方を知る  □プロフィール用紙の不足分を確認し、入力できる | |
| 技術 | □ごみの分別ができる  □清潔ケアで必要な物品の準備ができる | | | □電子カルテから患者情報を収集できる  □移動の介助ができる  □環境整備ができる  □ナースコールに出ることができる（対応は除く） | | □情報収集を基に一日の計画が立てられる  □剃毛ができる  □点滴の準備ができる  □モニターのセッティングができる  □吸引ができる  □吸入ができる  □血糖測定ができる  □12誘導が正確にとれる | | □点滴の患者への実施ができる  □心カテの前処置ができる  □カテ後の対応ができる  □バルーン留置ができる  □サーフローの留置ができる  □CVの挿入の介助ができる  □CVの管理ができる  □内服薬の管理ができる  □ポンプの操作ができる  □インスリン注射ができる  ※機会があればカテ見学 | | □心外術前準備ができる  □ドレーン管理ができる  □経管栄養・PEGの管理ができる  □各種培養検査が正確に採取できる  □行動抑制が正しくできる  □ナースコール対応ができ、報告・相談ができる  □血液製剤の管理ができる | |
| 態度 | □接遇マニュアルに基づいた身だしなみができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□知識・技術の修得に、常に取り組んでいる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□責任を回避したり他に転嫁しない  □使用物品は責任もって片付け、整理・整頓を心がけることができる　　　　　　　　　　　□コスト意識を持ち、機材を大切に扱うことができる　　　　　　　　　　　　　　　　　□患者を満足させる対応ができる  □自分から挨拶を心がけ、節度ある態度で相手と関わる事ができる　　　　　　　　　　　　□性格や意見の異なる人とも感情的にならず、対応する事ができる　　　　　　　　　　　□病院及び部署のルールを守ることができる  □遅刻・早退・休みの連絡が必ずできる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□いつも笑顔で相手（患者・患者家族・業者・職員等）　　　　　　　　　　　　　　　　□優先順位を考えた行動が取れる  □時間を守って行動できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□提出物（各種届出等）の期限を守る事ができる  □報告・連絡・相談ができる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□相手の立場に立って物事を考え、チーム全体を考えた行動・発言ができる | | | | | | | | | | |
| 備考 |  | | |  | |  | |  | |  | |
| 達成日 | 月　　　日 | | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | |
| サイン | 教育担当責任者  印 | | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 |

**EPA看護師（2年目）ステップアップシート**病棟　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　実地指導者　氏名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度単位の目標 | **２年目** | ①日本語能力検定N2合格。  ②看護記録が正しく書ける  ③循環器疾患の知識を深め、退院指導を行うことができる。  ④メンバーとしての役割ができる。カンファレンス、申し送りノートの内容が理解できる。  ⑤ラダーⅠを目指す。 | | | | | | | | | |
| ステップ | ステップ1 | | | ステップ2 | | ステップ3 | | ステップ4 | | ステップ5 | |
| 達成予定日 | 月　　　日 | | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | |
| 目標 | □心不全の病態、治療、診断、看護が理解できる  □SOAPの記録が正しく書ける  □個々の申し送りの内容が理解できる  □日々のカンファレンスに参加できる | | | □心不全の看護計画立案ができる  □心不全患者の退院指導ができる  □致死的不整脈出現時の対応ができる | | □心筋梗塞の病態、治療、診断、看護が理解できる  □狭心症の病態、治療、診断、看護が理解できる | | □心臓血管外科オペ出しができる  □心外術後の創管理、ドレーン管理ができる  □心カテ（PCI、PTA、CAG）の違いがわかる | | □ペースメーカー挿入の看護が理解できる  □心カテ（アブレーション）の看護が理解できる  □人工呼吸器使用患者の看護が理解できる | |
| フォロー体制 | □リーダー、指導者がフォローする  □スタッフの支援を受けて5名以上の担当患者を受け持つ  □スタッフの指導を受けて受持ち患者を受け持つ | | | | | | | | | | |
| 知識 | □心不全の病態  □心不全の治療  □心不全の診断  □心不全の看護  □感染隔離部屋の対応がわかる  □内服薬の知識 | | | □心不全の指導項目がわかる  □致死的不整脈がわかる  　・VT  　・VF  □致死的不整脈出現時の対応がわかる | | □心筋梗塞の病態がわかる  □心筋梗塞の診断がわかる  □心筋梗塞の治療がわかる  □心筋梗塞の看護がわかる  □狭心症の病態がわかる  □狭心症の診断がわかる  □狭心症の治療がわかる  □狭心症の看護がわかる | | □ドレーンの挿入部位、排液の性状を観察できる  □創部管理ができる  □冠動脈CTの検査の流れがわかる  □経食エコーの検査の流れがわかる  □心カテ見学をし、検査の流れを理解できる  □血液製剤の投与方法がわかる | | □ペースメーカーの適応疾患が理解できる（AVB）  □アブレーションの見学  （AFL、PSVT）  □終末期患者の看護がわかる  □人工呼吸器使用患者の観察ポイントが  わかる  □急変・緊急時の対応がわかる  □DCの対象、操作方法がわかる | |
| 記録 | □SOAPの記録が正しく書ける  □経時記録が書ける  □テンポラリーの記録が正しく書ける | | | □看護計画の立案ができる  □看護計画の評価ができる  □病態のアセスメントができる  □クリティカルパスの使用方法が分かる（□ペースメーカー　□心外手術）  □サマリーの記入ができる | | | | | | | |
| 技術 | □電子カルテから患者情報を収集できる  □CV挿入の介助、管理ができる  □内服薬の管理ができる  □HCU退室患者の受入れができる  □輸血ができる  □経管栄養ができる  □痰培養、血液培養を採取できる | | | □パンフレットを使用し退院指導ができる  □栄養指導の依頼ができる  □内服自己管理移行への指導ができる  □ステップ1の振り返り | | □パンフレットを使用し退院指導ができる  □12誘導の実施、評価ができる  □患者の状態変化を医師に報告できる  □ステップ2までの振り返り | | □心外術前の準備ができる  □心外術前オリエンテーションができる  □ドレーン管理ができる  □血液製剤の管理ができる  □ステップ3までの振り返り | | □PMI後の管理ができる  □自己検脈の指導ができる  □パンフレットを用いて指導ができる  □人工呼吸器の管理ができる  □挿管・抜管の介助ができる  □挿管中の管理ができる  □DCの介助ができる  **□死後の処置ができる**  ステップ4までの振り返り | |
| 態度 | □報告・連絡・相談できる  □知識・技術の修得に、常に取り組んでいる  □相手の立場に立って物事を考え、チーム全体を考えた行動・発言ができる | | | | | | | | | | |
| 備考 |  | | |  | |  | |  | |  | |
| 達成日 | 月　　　日 | | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | | 月　　　日 | |
| サイン | 教育担当責任者  印 | | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 | 教育担当責任者  印 | 実地指導者  印 |